

令和7年度第2回練馬区在宅療養推進協議会 在宅療養専門部会 会議概要

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日時    | 令和8年1月30日(金) 午後6時30分～午後8時00分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2 場所    | Zoom                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 3 出席者   | <p>&lt;委員&gt;<br/> 出席者：寺本委員、大城(堅)委員、生田委員、會田委員、尾崎委員、栗原委員、土屋委員、古川委員、高野委員、関委員、鈴木(健)委員、横山委員(石上様代理出席)、中島委員、富田委員(部会長、地域医療担当部長)、内田委員(地域医療課長)、西方委員(高齢者支援課長)、阿部委員(介護保険課長)<br/> 欠席者：丹正委員、土方委員、鈴木(小)委員</p> <p>&lt;事務局&gt;<br/> 地域医療課</p>                                                                                                                                 |
| 4 公開の可否 | 公開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 5 傍聴者   | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 6 次第    | <p><b>【案件】</b><br/> (1) 令和7年度練馬区在宅療養推進事業<br/> ア 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果報告 ……資料1<br/> イ 令和7年度医療・介護・消防連携事業の動画(案) ……資料2<br/> ウ 令和7年度練馬区医療・介護資源調査報告書(案) ……資料3<br/> エ 令和7年度練馬区死亡小票分析報告書(案) ……資料4<br/> (2) 令和8年度練馬区在宅療養推進事業<br/> ア 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール(案) ……資料5<br/> (3) その他</p>                                                                                    |
| 7 資料    | <p>○資料1 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果(令和7年12月末)<br/> ○資料2 医療・介護・消防連携事業について<br/> ○資料3-1 令和7年度練馬区医療・介護資源調査報告書(案)の説明資料<br/> ○資料3-2 令和7年度練馬区医療・介護資源調査報告書(案)<br/> ○資料4-1 令和7年度死亡小票分析報告書(案)の説明資料<br/> ○資料4-2 令和7年度死亡小票分析報告書(案)<br/> ○資料5 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール(案)<br/> ○参考資料1 練馬区在宅療養推進事業(令和6～8年度)<br/> ○参考資料2 新たな地域医療構想まとめ概要<br/> ○参考資料3 アクションリストについて～地域医薬品提供体制強化に向けて～</p> |
|         | <p>練馬区 地域医療担当部 地域医療課 医療連携担当係<br/> 電話 03-5984-4673</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## 会議の概要

### (1) 令和7年度練馬区在宅療養推進事業

#### ア 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果報告

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

(委員)

引き続き、ACP の勉強会をさせていただきました。区内の多職種の皆さんがディスカッションし、その難しさを体験することで、様々な角度から意見が出るようになったのはとてもよいことだと思います。次年度も継続できるとよいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。回を追うごとに充実しており、参加者の満足度も非常に高いので、今後もよい研修会になるよう区と連携して活動したいと思います。

#### イ 令和7年度医療・介護・消防連携事業の動画（案）

(部会長)

オンライン会議の共有画面では通信環境の関係で音声と画像がずれていましたが、実際のは合っています。こちらについてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

(委員)

大変興味深く拝聴しました。せっかく作ったので、動画をできるだけ多く流す場を設けられるよう検討するとよいと思います。区内のいくつかの病院で動画を流してもらえよう働きかけてはどうでしょうか。見る人が多ければ多いほど認知する人が増えるでしょう。区役所にたまたまいらした人のみでは人数が限られてしまうと思います。複数の病院の外來待合で流すことができれば、かなり多くの方が目にすると思いますので、ぜひその提案をお願いします。区の依頼を断るところはあまりないと思います。

(事務局)

動画は区の事業に加え、区ホームページでの公開等も考えています。さきほどご意見があったように、もし可能であれば病院等もぜひ協力いただきたいので、呼びかけも検討したいと思います。

(委員)

医療・介護・消防連携事業でも活用されている 119 あんしんシートが、動画の中でも紹介されていますが、この 119 あんしんシートは現在までにどれぐらいの部数が配られているのか教えていただけますか。

(事務局)

初年度に作った 60,000 部はまもなく配り終わるところで、そのあと今年度分を新たに配布していく予定です。多くの医療機関や地域包括支援センター、薬局、訪問看護など、様々なところから問い合わせをいただき、配布しているところです。また板橋区のある地域から、119 あんしんシートを参考に同様のものを作りたいとご連絡をいただくなど、区外からの問い合わせも増えています。

(委員)

非常によいものができたと思います。手軽で内容も分かりやすく、私も区民に講演するときに 119 あんしんシートを配ると、皆さんその場で広げてとても熱心に見ていますし、ACP のチェックシートを実施してくれたりしています。さらに周知や配布をするとよいと思います。せっくなので今回作成したビデオも、委員が言われたように、病院の待合室や町内会のイベントの始めに流してもらったり、119 あんしんシートを配るときに動画もセットで流したりするとよりよいと思います。ぜひ協力して、いっしょに検討できればと思います。

(事務局)

委員にも大変協力いただきました。町会や病院関係を含め、多くのところに配布していただき、大変ありがたく思っています。介護老人保健施設のアバンセでも ACP の勉強会を開いており、いろいろところで ACP に関する専門職や地域の人向けの勉強会が増えていることは皆さんのおかげと思っています。引き続きよろしくお願いします。

(委員)

先日、『地域医療構想調整会議<区西北部>』に、東京都の薬剤師会の担当として出席しました。区西北部の地域医療構想調整会議なので、高齢者の救急搬送が議題にあがっています。急性期、手術が必要な三次救急である場合があまり多くなく、もしかすると要介護度などで振り分けるのは危険かもしれません。検討しているのは、状態によってトリアージをして搬送先の病院を判断してはどうかということで、病院側の負担、特に三次救急を扱っている病院側の負担を軽くしたいという話し合いでした。やはり救急隊が情報を得ること自体が困難なことに加え、得た情報が正確でないとまた混乱を呼ぶということでした。ACP オーダーと言われていましたが、かかりつけ医に連絡がとれ、かかりつけ医がどうしたいのかわかること、そしてもちろん患者とその家族の意思がはっきり確認できていることが重要で、それを示すアイテム、しっかり情報が書かれたものがないことが障壁になっているという意見もたくさん出ていました。東京都の立場で出ていたのですが、練馬区では 119 あんしんシートというものがありますと言ってみました。同様のものはよそにもあるかもしれませんが、練馬区に隣接する、西東京市も含め、片山や新座、北区、練馬区、豊島区、さきほど話の出た板橋区など、横とつながりながら同じような取り組みができてよいいのではないかと思います。既に 60,000 部も配布が終わりそうと聞きましたが、まだ余力があるようでしたら、よいものはどんどん広めていかれると思います。

ウ 令和 7 年度練馬区医療・介護資源調査報告書 (案)

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。さきほど BCP の作成状況について、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションで高い割合と伝えましたが、作成した際のお話やご意見があれば一言いただけないでしょうか。

(委員)

BCP の作成については、居宅介護支援事業所向けの BCP の雛形を居宅部会で作った経緯もあり、そちらをダウンロードして使っている事業所もかなり多いと聞いています。ただ単独で BCP を組み立てていく難しさを非常に感じています。居宅単体で BCP を実施できるのか、多職種連携をとりながら行う必要があるのではないかと思います。能登地震では BCP を作成していても、現場でうまく機能しなかったという情報も得ています。そういった事例も聞き取りながら、今後もう少しブラッシュアップしていかなければいけないと感じています。

(委員)

訪問看護でも、BCP を提出しないと減算の対象になるので、ほとんどの事業所が提出しています。フォーマットに関してはステーション連絡会の勉強会の中で紹介したものを、それぞれ自分たちが使いやすいように作っています。さきほど委員が言われたように、BCP を地域の中でどう活用するのかということが今後の課題になってくると思いますが、先般災害チームのようなものが立ち上がり、チームからの発信が始まったところです。それが進捗していけば、個別のステーションだけでなく、エリアの中で BCP をどう活用するかというところに進んでいくのではないかと思います。

エ 令和 7 年度練馬区死亡小票分析報告書 (案)

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。ご意見がなければ次に進めます。

(2) 令和8年度練馬区在宅療養推進事業

ア 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール (案)

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。夜間休日診療と支援体制の構築については、医師会の事業として進めています。医師会の先生から、一言お願いします。

(委員)

医師会では、令和7年度まで過去3年間、東京都の夜間休日診療体制の補助金を使い、夜間休日のかかりつけ医・訪問医の助け合いや、365日診療が難しいときに補完するというこれまでになかった事業を進めました。同時に、今まで在宅では困難だった、専門医に家で診てもらって他科診療も可能になりました。練馬区のサポートのもとに今後さらに発展させ、在宅医療の質を向上させていきたいと思っております。医師会の在宅医療の窓口である医療連携サポートセンターの機能を練馬区の支援でさらに充実させ、区民の皆さんによりよいサービスを提供したいと考えています。

(3) その他

・新たな地域医療構想について

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。ご意見がなければ次に進めます。

・練馬区薬剤師会から共有

(部会長)

ただ今の説明についてご質問・ご意見等がありましたらお願いします。

(委員)

今薬が不足しており、私たちかかりつけ医も苦慮することが多々あります。例えばペニシリンがない、咳止めの薬がないなど、非常に困っています。患者さんからどの薬局に行けばよいのかと聞かれるのですが、電話して聞いてくださいと言うしかない状況です。今説明されたようなシステムを構築していただけるととても助かります。ぜひ紹介されたシステムを広げていただけると、処方箋を出すほうもありがたいと感じます。

(委員)

ありがとうございます。頑張る勇気が出ました。進めてまいります。

(部会長)

用意した案件はすべて終わりましたが、最後に全体を通して何か質問・ご意見がありますか。

(委員)

資料04-②のP24「医療機関別の看取り数(令和6年)」に出ている数は、練馬区に住民票がある方がどの施設で亡くなったかという数字でしょうか。そうであれば、練馬区民は練馬区外の病院で亡くなった人のほうが多いということでしょうか。4位が都外、5位が板橋区、6位が中野区の病院となっており、練馬区の病院の合計よりも、区外を全部足したほうが多そうです。また個別の医療機関がアルファベットになっていますが、施設名を出すのは差し障りがあるのでしょうか。

(事務局)

おっしゃる通り、本調査の対象は練馬区民、練馬区に住民票がある人になります。病院看取りについては、区単体でみると練馬区が一番多いですが、練馬区と区外で見ると区外が多いです。また、施設名は伏せた形でまとめています。

(委員)

病床数が少なく、地元で引き受けられていない人が非常に多いということにも見えるので、頑張らなくてはと思った次第です。

(事務局)

委員もご存じのとおり、病床数については、二次医療圏の話も関わるもので、区内だけで考えるのは難しいですし、どうしても近隣の区をまたぐということはあると思います。一方、在宅看取りを見ると6割以上が練馬区なので在宅に係る皆さんが頑張ってくださいている結果とっております。

(委員)

今回の P24 の看取り数については、練馬区の場合、急性期病院もそうですが、例えばホスピス、介護医療院、旧式の療養型病床などが少ないこともあり、長期で医療が必要な人は区外に出ていく傾向があるのではないかと、地域包括支援センターで在宅療養の相談を受けていると感じます。できるだけ地域に帰って在宅療養をしながら、必要なときに医療を利用していこうという流れもあるので、様々な要因があつてこのような数になっているのではないかと感じます。

(部会長)

病院看取りについてはもう少し分析し、新しい報告ができればと思います。ほかにいかがでしょうか。今回の会議でも様々なご意見をいただきました。事務局で整理し、後日委員の皆様にもご確認いただければと思います。専門部会については、本日が今年度最後の開催となります。今年度もさまざまな貴重なご意見をいただきありがとうございました。さきほど令和8年度のスケジュールを説明しましたが、次年度第1回の専門部会は5月ごろを予定しています。事務局から改めて日程等のご連絡をいたします。お忙しいところ恐縮ですが、次年度も引き続きよろしく願いいたします。それでは、本日の専門部会は以上で終了します。本日もお忙しい中、ありがとうございました。

(皆)

ありがとうございました。